

# とことこ通信

平成29年3月28日  
ときわ・ことり保育園

まもなく、新年度を迎えます。

毎月いろいろな行事を経験して子ども達は、心も身体も成長し、また、ひとまわり大きくなりました。

至らぬ点も多々あったかと存じますが、保護者の皆さまのご理解ご協力に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

・幼児は、いろいろな経験を通して思いやりの心が育ちます。

戸外遊びや、散歩など、他クラスのお友達と共に活動をすることがあります。

おもちゃの貸し借りをしながら遊んでいたりと、転んでしまい泣いている子に

“大丈夫”と、手を差し伸べ起こしてあげたり、頭をなでてあげたり……。

また、散歩では小さな子と手を繋ぎ歩き、列が乱れてしまうと“危ない”と、言いながら

そっと手を引く姿がみられたり……。

年下の友達へのお世話を通して、感謝されることに喜びを感じているようです。

友達に向いてくる“気持ちの芽生え”が、感じられうれしく思います。

・子どもの自立は見守りから

子どもは、安心して安全な環境にいと、落ちついていろいろなことに、興味、関心をもち、行動し遊びます。

できるだけ身の回りのことは自分で行ない、できるようになった喜びを味わえるよう

見守っていききたいものです。

おもちゃを片付ける・着替え・かばんを背負って帽子を被るなど

☆一つひとつの経験が大きな喜びに繋がりますよう見守っていききたいと思ひます。

